

麗和 サッカークラブニュース

Vol. 38

平成 25 年 12 月 11 日発行 発行人 麗和サッカークラブ会長 星野 隆之

新年初蹴り会 1月5日(日) 全員集合!!

毎年恒例の「新年初蹴り会」を以下の要領で開催します。老いも若きも？ 思い出深い浦高グラウンドに集り、新年を祝い、OB・現役一緒に楽しくサッカーをやりましょう。

新年会のみのご参加も大歓迎です。



- | | |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日 時 | 平成 26 年 1 月 5 日 (日) 9 時 30 分集合 |
| 2 スケジュール | 9:30 集合
10:20 FC れいわ vs 現役
11:15 ベテランOB vs 浦和一女サッカー部 (予定)
若手OB vs 現役
12:30 新年会 麗和会館 2F 会議室
※ 試合と並行して行います。試合の合間にいつでもご参加ください! |
| 3 雨 天 時 | FC れいわ vs 現役
その後、新年会 |
| 4 会 費 | 社会人のみ ￥1000 |

残念、ベスト8成らず！！

一年を締めくくる第92回全国高校サッカー選手権埼玉県大会で、決勝トーナメントに進出した現役チームは滑川総合、浦和学院と苦戦しながらも粘り強さを発揮して、久々のベスト16に入りました。しかし、ベスト8入りに立ちはだかったのは、この大会で優勝した市立浦和高校と決勝を争ったインターハイ全国3位の正智深谷。じっくり鍛えた夏合宿を契機にチーム力が向上、練習試合ながら市立浦和に勝利するなど選手も自信をつけての挑戦でしたが、力及ばず0-5で敗れました。多くの父母や若手OB達、クラスメート、他の部の親御さんまで応援に来てくれました。残念な結果ではありますが、精一杯頑張った選手達「御苦労さん！」そして、「新チーム頑張れ！」

おめでとう ラグビー部 全国高校ラグビー選手権出場！

すでにご存じの通り、ラグビー部が深谷高校を破って54年ぶりに悲願の花園での全国大会に出場します。メンバーは高校に入ってからラグビーを始めた者ばかり。実質2年半で身体造りから技術、戦術、精神力をトップクラスにして、小・中学校からのラグビー経験者ばかりの北部地区、深谷高校と対等以上に戦うには、指導者、選手共に並大抵ではない努力があったでしょう！同じグラウンドで活動する部同士、仲間でもありライバルでもあるラグビー部に心からの祝福を送りましょう！

同じ公立高校のさいたま市立浦和高校サッカー部が全国大会に出場を決めています。この二つの快挙に我がサッカー部の諸君も大いに勇気づけられたはずです。

全国は決して夢では無い！！

私達OBも出来る限りの様々な支援を現役に注いで応援しなければなりません。

浦和四校サッカー部 OB 交流戦 0-35 優勝(5回目) 0-50 3位

9月23日(祭)にレッズランドで「第13回浦和四校サッカー部OB交流戦」が行われました。当番校として慰労の無いよう準備を進めてきたつもりですが、一番の心配は、天候と、我が浦高OBの参加者が何人になるか、でした。いざ蓋を開けてみるとそんなことは杞憂でした。晴天に恵まれ、34名の方々が集まり、交代を待ちきれない状況でした。TBSキャスターの堀尾正明氏(26回卒)も初参加、高校時代のポジション右Wingでタツプリ汗を流しました。36歳になった元浦和レッズ渡辺隆正氏(48回卒)の活躍には「流石!!!」の一言。

別ページに、田口智雄氏(31回卒)の報告文が載っています。御一読下さい。

【参加人数】	浦高	市高	西高	南高	計
試合	34	44	27	42	147
懇親会	22	26	22	22	92

現役情報

サッカー部 監督
松村道彦 (高27)

10月に3年生にとっては最後の大会である高校選手権2次予選が行われました。

今年は2009年度以来の2次予選進出となり、今年度からトーナメント方式に変わったこともあり、1試合1試合が緊張感の高いものとなりました。1・2回戦は苦しい試合ながらも勝利をおさめ、審査中も練習を行い正智深谷戦に備えました。シード校の正智深谷は全国高校総体ベスト4に入り、この選手権も当然ながら県代表候補です。前半に失点を重ね0-4となり、後半は1失点でしたが完敗でした。今年は36名の3年生が最後まで残り、メンバーに入れない3年生も含めよく戦いました。

多くの保護者、OBの皆様に応援していただきました。この紙面をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

現在1年生29名・2年生41名 計70名で年明け1月からの新人大会に向けて練習を行っております。全国大会出場を決めたラグビー部に良い刺激を受け、頑張りたいと思います。今後ご指導よろしく願いいたします。

○第92回全国高校サッカー選手権埼玉県大会 結果報告

1次予選 vs 川口総合 4-1 vs 川越 5-2

2次予選 vs 滑川総合 4-2 vs 浦和学院 2-0 vs 正智深谷 0-5

ベスト16敗退

○高円宮杯U-18サッカーリーグ2013 埼玉県S2Aリーグ

	浦和	本庄 第一	大宮 東	南稜	深谷 第一	川越 南	狭山 ヶ丘	浦和 学院	勝	分	負	勝 点	得 点	失 点	差	順 位
浦和		3○1 1●2	2△2 0●1	0●1 3○1	2○1 2○0	0●1 1●4	0●1 1○0	0●3 4○0	6	1	7	19	19	18	1	4

埼玉県2部リーグ残留

浦和Bは南部地区3部リーグで1位となり、南部地区2部リーグに昇格しました。

○新人大会南部支部決勝トーナメント予定

1月12日(日) vs 開智中高 or 大宮開成(浦和北) 12:00~

1月18日(土) vs 蕨、市立川口、岩槻商業の勝者(浦和東) 12:00~

1月19日(日) 準々決勝(浦和東) 12:00~

1月25日(土) 準決勝(会場未定) 12:00~

1月26日(日) 決勝(会場未定)

*詳しくは『埼玉県サッカー協会 2種 高校サッカー』のHPでご確認ください。

試合会場には駐車スペースがありません。

申し訳ありませんが 最寄りの公共交通機関 をご利用ください。

新主将となって

サッカー部主将
南城雄輝

新チームのサッカー部主将になりました南城雄輝です。

今年度のチームの目標は、まず、県ベスト8に入ること、そして、県一位になることです。今年の先輩方は、高校サッカー選手権で県ベスト16という素晴らしい結果を残しました。最後の正智深谷高校との試合では、浦和高校サッカー部伝統のつなぐサッカーで、最後まで戦ってくれました。また、この試合では、県ベスト8の大きな壁を感じました。

目標を達成するために、個々のレベルを向上させ、どんな時でも声の出るチームにしていきたいと思えます。応援よろしくお願ひします。

FCれいわ 戦績報告

主将 中嶋 遼(高64)

○埼玉県社会人 南部地区3部リーグ
12チーム中8位(4勝6敗1分)

今年は県3部リーグに所属し、3月から約半年間の全日程を終えました。序盤戦はなかなか勝てず、降格圏にとどまり苦しい時期もありました。しかし後半戦は持ち直して、最終的には残留することができました。来年も県3部で戦うこととなりますが、上位進出を目指して日々活動していきたいと思えます。そしてリーグでの結果を残すと同時に、もっとチーム力を上げて、現役強化の場としての役割もしっかり果たしていきたいです。

またここ2年、試合で戦うメンバーが大きく変わり、現在は大学生中心のチームになってきています。もちろん社会人メンバーも活躍していて、現在幅広い世代の方がれいわの活動に参加しています。卒業してからもサッカーができ、また世代を超えた交流ができる貴重な場所だと思えます。

毎週水曜20~22時に浦高グラウンドでのナイター練習も変わらずやっています。今年は定時制サッカー部との練習試合もありました。試合に出て活躍したい、久しぶりに体を動かしたいなど、動機はなんでも構いません。いつでも気軽に顔を出してください。お待ちしております！



高校選手権選抜ドイツ遠征 U19 スペイン遠征帯同報告

西大宮病院

岩本健一（高54）

浦高54回卒の岩本です。現在西大宮病院で整形外科医師として働いていますが、このたび上記表題のように、医師としてサッカーに携わり、日本代表の帯同をさせていただく機会がありました。

サッカーに携わることを希望する医師、歯科医師が集うサッカードクターセミナーという日本サッカー協会が主催するセミナーで、ともに勉強し、情報交換し、ともに汗を流す医師、歯科医師の中から遠征に帯同する事になります。私もその中で様々な話を聞きましたが、今回遠征で体験した事は層状以上に大変であり、楽しいものでした。

帯同でのドクターの仕事としては外傷に対する治療のほか、選手、スタッフの健康管理を行うことで、監督はじめテクニカルスタッフと選手との橋渡しを担う事が求められます。ジェラルミンケース2つに医薬品はじめ、医療器具を持っていくのですが、検査は現地の病院で可能な範囲で行い、ほとんどが身体所見で判断するという、普段の病院診療とはかけ離れた環境になります。

今回の遠征は2つの単発のチームに帯同しました。まず、高校選手権選抜ですが、我々の高校時代に目指していた選手権の先にある代表で、日本国内の合宿、XEROX Super soccerの前座試合（2013.2.23）とドイツ・デュッセルドルフでの大会（2013.3.20-4.3）に出場しました。いわゆる「八咫鳥」の代表とは違い、スタッフは高校教諭、学校所属のトレーナー、日本テレビスタッフと多職種で構成されて

います。高体連の選手のほとんどはドクターとトレーナーの違いもわかっていない状況からのス

タートでした。長距離の移動と時差もありましたが、特に体調不良の訴えはありませんでした。また、スポンサーであるマのスパイクでのプレーとなったのですが、普段はき慣れない選手は靴擦れの訴えがありました。試合は25分ハーフでしたが、連日の試合で1日2試合の日もあり、決して楽な大会ではありませんでした。それでも打撲7例、捻挫3例いずれも軽傷で、感冒症状5例も軽症と、ドクターの仕事としては多くありませんでした。参加チームにはリアル・マドリッド、ゲンク、バイエルン・ミュンヘン、ドルトムントのユースチーム等、錚々たる顔ぶれの中で立派に闘い、見事優勝を勝ち取りました。

また、U19 スペイン遠征は8月7日から23日の日程で参加しました。参加選手20名中、14名がJリーガー、1名がドイツリーグ所属、5名が大学生、スタッフは日本サッカー協会所属です。この年代はJリーグ1、2年目での出場機会も少ない中での遠征でした。時差は-7時間で日本からの移動時間も22時間に及びました。朝7時に日の出、21時頃日没と、時間設定が日本と違う状況下でしたが、22時45分キックオフという試合が続き、その他乾燥や1日の気温差など、コンディショニングも難しい状況での大会でした。足関節捻挫3例、前十字靭帯損傷1例、打撲8例と外傷が多く、感冒症状も6例で隔離が必要な状況も生じました。スパイクはアディダス製で靴擦れとも戦う選手が数名いました。プレー困難で別メニューでの調整が必要な選手が多く、中でも前十字靭帯損傷はGKが受傷したため、スペインで緊急でMRI撮影し、診断をつけ、緊急帰国、新たに他の選手の招集となってしまいました。結果も予選敗退となってしまいましたが、大会準優勝のアルゼンチンに勝利するなど、選手たちにとっては要所要所で実りある遠征であったと



思います。リオの五輪を目指す選手たちの出発となる位置づけの遠征で、ドクターとしては苦勞する大会ではありましたが、非常に良い経験をさせていただきました。

現場での診断、治療の難しさは現場でないと経験する事ができないので、私自身にとっては非常に良い経験になりました。今回、私のような若輩者にこのような貴重な経験をさせてい

ただいた皆様に感謝したいと思います。また、諸先輩方におかれましては今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしく
お願いいたします。



若手浦和4校交流戦案内

**35歳以下
全員集合!!**

毎年浦高からの参加人数が少なく、体力的にも苦しい運営となっております。
今年こそは、多くの参加者で会を盛り上げられることを期待します。
昔の仲間やライバルとボールを蹴ることは、結構楽しいですよ！

- | | |
|------|----------------|
| 1 日程 | 平成 26 年3月9日(日) |
| 2 会場 | さいたま市立浦和高等学校 |
| 3 集合 | 8時30分 |

時間に余裕をもって集合してください！
仲間内で声を掛け合って、多くの方のご参加をお待ちしております。

浦和4校交流戦報告

我が浦高が幹事高で第13回交流戦が、9月23日（月曜日・秋分の日）にレッズランドにて開催されました。雨も心配されるような天候でしたが、参加者の心掛けが良かったのか、雨に降られることもなく試合を行うことができました。

現役世代が全国高校サッカー選手権の埼玉県2次予選の最中に本交流戦が行われるのを避けようということで、以前は10月に開催されていた本交流戦が今回より9月に開催されることになりました。

我が浦高の35歳以上のBチームの戦いですが、第1試合の浦和市立高を大差で圧勝（5-0）して順調に1回戦を勝ち上がっていきました。続いて優勝決定戦であります。浦和南高との戦いは、ボールを支配して多くのシュートを放つもなかなか得点を上げられなかったが、最後は地力の違いを見せ得点して浦和南高を撃破して優勝を勝ち取りました。35歳以上のBチームは、前回交流会で5連覇を逃したものの4連覇を達成という偉業を達成していました。今回の優勝は、連覇への第一歩であります。今回幹事校であり、いい成績を残したいという幹部の思いが強く、元プロ選手（浦和レッズ 48回卒渡辺隆正）を投入するという奥の手まで使った見事な優勝でありました。第1回戦、優勝決定戦とも素晴らしい内容のゲームで、見ている者をうならせるサッカーをしていました。メンバーをさらに補強して毎年他の3校を弄りたいものであります。

続いて50歳以上のAチームの戦いですが、第1回戦浦和市立高に善戦むなしく敗れ、3位決定戦にて浦和西高と引分け両校とも3位という結果に終わった。2試合通じて得点0というのが、悔しかったので来年以後は、参加人数を増やして、各人毎日100本のシュー



田口智雄（高31）

ト練習を課して何としても得点を上げたいと思います（冗談です）。Aチームの方は、日頃サッカーをやっている時間が他のチームより少ないのがあらわれたような試合内容であったような気がします。何はともあれ、おっさんが人が人も楽しくボールを追えたので良かったのではないのでしょうか？

65歳以上のOBチームと浦和一女のエキジビションマッチでは、孫娘に翻弄されるおじいちゃんの姿が見られました。一女の選手は、よく走るし、当たりも強いので驚いたといった顔のOB選手が散見されました。OB選手とはいえ、立派な男性なので、強い当たりには少しニンマリといった様子でもありました。65歳を超えてボールを蹴れる体力があること、サッカーをやろうという気力があることが何より素晴らしいことではないでしょうか？

試合終了後は、レッズランドクラブハウスにて懇親会が開催されました。各テーブルにてサッカー談義や昔ばなしや武勇伝で盛り上がりました。今回レッズランドでの開催にお力添えをいただいた浦和レッズ橋本代表や、落合氏（浦和市立高校卒）、昨年日本サッカー協会の殿堂入りを果たした永井氏（浦和南高校卒）の話も聞くことができました。

最近私が読んだ本で「三匹のおっさん」（著者：有川 浩）という本があるのですが、本の内容は、昔悪ガキ（剣道家と柔道家と知患者の腕に覚えのある3人）呼ばれた3人の同級生が60歳を迎え、まだ老け込む年でもないし世直しをしようことで、街をパトロールして悪人をバツバツとやっつけるという愉快痛快な小説なのであります。

浦和4校交流戦に「足に覚えのある者集結せよ！」ということで私の報告を終わりに致します。

麗和サッカークラブ(OB会)を考える — 会費とは? —

「本会は、サッカーを通じて、県立浦和高校サッカー部の発展と会員相互の親睦を計ることを目的とする」と会則にあります。会費はこの目的を達成するために必要不可欠なものであることは言うまでもありません。とは言え、サッカー部の卒業生に、「会員になることの承諾」なるものを頂いた事が無いのも事実です。浦高を卒業すると浦高の同窓会に入会する(している)のと同じ事、自分達が知っている、いない、気がついてた、ついていないに関わらず、様々な形での指導や支援を高校時代に先輩達から受けていた事を、「今度は我々が後輩達にしていこう」ということになるのでしょうか。

会費に限って現状を見てみると、600名を有に超えるOBの皆さんに会報を送り(これだけで約15万円)、会費の納入をお願いしています。が、納入されている人数は125名(11月末現在)に止まっています。毎年30名程の卒業生がいるにもかかわらず、です。なお且つ、125名の内、70歳以上の方の寄付金(会費は69歳まで)が30%弱を占めています。大学生の納入者に至ってはたったの9名(11月末現在)。このままいくと、OB会の先行きが大変不安な状態です。先細りになり、常時100名を超えている現役に対する支援が出来なくなってしまうのではないのでしょうか? 10月末現在90万円の予算に対して約77万円 現役補助40万円で10万円未納、FCれいわ補助10万円も未納です。

「支援された立場から、する立場へ!」

頭の片隅にあっても、ご多忙で振り込みが出来ていない方、忘れていらっしゃる方が多いかと思えます。。

予算達成まで、122,000円 よろしく願いいたします!!

会費納入方法について

社会人 5000円 学生(浪人生を含む) 2000円

郵便振り込み⇒ 同封の振り込み用紙をご利用ください。(振込手数料当会負担)

銀行振り込み⇒ 城北信用金庫 北浦和支店 店番(022)(普通)5057418

麗和サッカークラブ会長 星野隆之(ホシノ タカユキ)

※ 振込手数料はご負担下さい。

※ 必ず卒業回あるいは卒業年度を振り込み人前に記してください。

(例) 14回 星野隆之

転居等で住所が分からなくなった会員が増えております。同期の方たちで、お分かりになる方は下記の担当者にメールまたはFAXにてお知らせください。また、ご自身の転居の際も当会へのご通知、お願い申し上げます。

名簿担当 宗久 信男
FAX 048-875-8075
メール

OB会長 星野 隆之
メール